



平成27年3月

Vol. 25



発行／名田島自治会連合会

編集／自治会総務部会

印刷／(株)山口県農協印刷



田中馨雲先生



講演中の足立明男館長



開会挨拶(伊藤会長)



司会進行の山根さん



馨雲先生愛用の道具の一部



田中馨雲先生作品展 1月24日[土]～25日[日]



高村光雲の高弟で名田島出身の彫刻家の「田中馨雲先生作品展」が自治会活動の二環として、集落会長の発案により、地域の歴史資源を活用した市の補助事業で、1月24日から25日にかけて開催されました。

当初の予想を遙かに上回る2日間で何と560名もの来場者があり、主催者も嬉しい悲鳴を上げました。

来賓の市情報センターの足立館長さんにも熱のこもった講演を頂いたところです。

今回の作品展を開催するにあたり、曾孫の田中英照さんを始め多くの地区内外のご協力を頂き盛会裡に終えることが出来ましたこと厚くお礼申し上げます。





どんど焼き(子ども会)



1月12日(月) 於 JA新倉庫

三世代交流で 「どんど焼き」行なわれる

お正月飾りや書初めが勢いよく天に向かって燃え、そこに身をよせ、「1年間の健康と無病息災」、「五穀豊穡」「家内安全」などを祈願をしました。

お餅の一部は、70才以上の独居の方に小学生の手紙を添えて届けられました。



七穀がゆ(向山上:長廣範夫さん)



七草がゆ(婦人会)



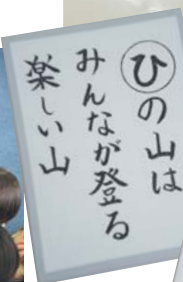
餅つき(青少協)



於 名田島小学校

かるた大会

どんど焼き終了後、名田島小学校へ移動して「新春かるた大会」が開催されました。皆な真剣で、一緒に参加された地域の方も昔を思い出されたのか微笑でおられました。



集落健康相談会

9月より第2巡目の集落健康相談会が始まりました。

今回からは運動機能低下の原因となる骨粗症の予防のために、塩分と病気との因果関係についてのお話と、理想的な塩分量のみそ汁の試食をしてもらい、ご家庭のみそ汁の塩分との比較をしてもらっています。

各集落会館で行っておりますので、お気軽にご参加下さい。

食生活改善推進員の
福島さんより説明を聞く▶



塩分の摂り過ぎは、
カルシウムを排出する。



◀みそ汁の試食



図上訓練

2月8日(日)に民児協と自治会連合会共催で作成した「支え合いマップ」を有効に活用するには、どうしたら良いかをテーマに図上訓練が行われました。

指導して下さった5人のインストラクターさんは「ここまで情報の共有が出来ていることは、素晴らしい」と感想を述べられました。

NPO日本防災士会の幸坂美彦氏は「実際の時どう役立つか、今後も訓練を重ねて行くと良い」と講評されました。



昔を語る会



公刊されている「名田島村史」や「山口市史」には記載されていない農業の機械化や家事の電化が進む前の、名田島の日常生活や年中行事、畜力・人力頼みの農作業、子供達の遊びや学校生活などを記録にとどめておこうと、毎月1回例会を開いて活動しています。

昭和20～40年代の名田島の

生活について話して下さる方を募集します。特に女性は大歓迎です。

右の新旧の写真2枚を見て、昔のことを思い出してください。「山の松の木が無くなったね。」「竹藪が広がったね。」「昔の堤防は低かったんだよね。」等々…。そこから話を広げていきましょう。



昭和32年夏



平成26年夏

名田島「たくみ」の技

名田島地区にも人知れず「技」の持ち主が多々いらっしゃいますので、紹介してみたいと思います。

製作中の

豊嶋 ^{たかし} 隆さん (島上)



高校の時、美術を専攻していましたが大学に入って20歳の頃から本格的に始めた。

10年前から絵の先生に付いて指導を受けている。県展に入選したこともあり、右上の絵が入選作品。

今では、小郡の文化資料館で個展を開催している。この5月にも開催する予定なので、見に来てほしい。

家には数百点もの作品が、所狭しと置かれている。

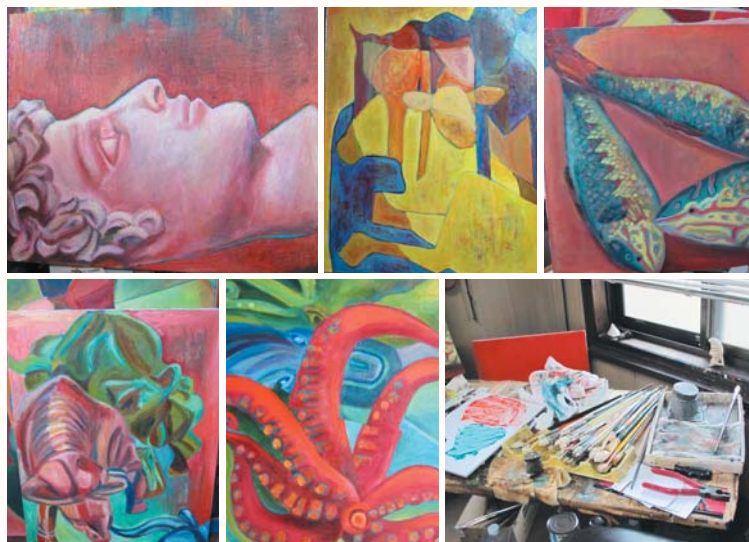
今ひとつの趣味はレコード収集(数千枚)です。



県展入選作品



アトリエ(昔の待合室)



狩猟の名人

竹内元二さん (新開作東)



箱罾



足ぐり罾

25才の時から猟を始め、当初は30人いた猟師が現在は4人となっています。

猟銃での猟を10年位前から箱罾と足ぐりの罾に替え、ほとんど毎日見回ります。猪の捕獲量は多いときで毎年20頭、少ない時で5頭くらいです。

体重120kgの猪を捕獲したこともあり、仲間との解体も大変な仕事です。

年を重ねてきてきついときもありますが、被害に困っておられる方も多いため頑張っています。毎日が、猪との知恵比べ、勉強させられます。